

第5学年 体育科（保健領域）指導案（簡易版）

作成日時： 年 月 日

指導者：

1. 単元名 2) 保健領域 エ けがの防止

2. 本時の指導（1／1時）

(1) 本時の目標

- 大きなけがの場合の対処ができるようにするとともに、心肺蘇生法・AEDについて理解したことを、言ったり、書いたりすることができるようにする。（知識・技能）
- 大きなけがの場合の対処法について、実習を通して、進んで取り組むことができるようにする。（主体的に学習に取り組む態度）

(2) 準備・資料

- ・ワークシート
- ・心肺蘇生法 説明用動画
- ・訓練用人形（心臓部のみも可）
- ・訓練用AED
- ・プロジェクタ
- ・小黒板

(3) 展開

時間	主な学習内容・学習活動	○指導上の留意点 ◆評価
導入 (7分)	1. 本時の学習課題について考える。 「目の前で、自分の大切な人(家族や友達)が急に倒れてしまったら、あなたはどのような行動をとりますか」 2. 心臓突然死について知る。	○ 本時は、自分の周りで人が急に倒れたり、命にかかわるような大きなけがが発生した際に、どのような行動をとればよいのかを学習することを知らせ、学習の見通しをもたせる。 ○ 課題と同じ経験をしている児童がいる場合には、事前に授業内容を伝えるなど十分に配慮する。
大きなけが(心肺停止)をした人を発見した場合には、どのような行動をとればよいのだろうか。		
展開 (30分)	3. 本時のねらいを知る。 4. 大きなけが(心肺停止)をした人を発見したときの行動について話し合う。 ・放課後、校庭で倒れている人を発見した。 ・声をかけたが反応がない。 5. どのような対応をすればよいか知る。 ① 安全の確認 ② 反応の確認 ③ 119番通報、AEDの依頼 6. 心肺蘇生トレーニングキットを展開する。 7. 胸骨圧迫の手順について確認し、練習する。 ④ 呼吸の確認 ⑤ 胸骨圧迫 8. AEDの目的や機能について知る。 9. 緊急時の対処法を確認する。	○ ワークシートに自分の考えを書き、全体で確認する。 ○ 反応(意識)や普段どおりの呼吸の確認がよく分からない場合は、次の行動に進んでよいことを知らせる。 ○ すぐに大きな声で助けを求めることが救命の第1歩であり、大切であることを伝える。 ○ DVDを視聴させ、ペアで交代しながら、ポイントを確認する。 ◆ 胸骨圧迫の練習に進んで取り組もうとしている。 (評価方法; 観察・ワークシート) 【主体的に学習に取り組む態度】 ○ AEDの目的や機能、校内設置場所を確認させる。 ○ 全体で再度3つのSTEP(左欄①②③)について確認させ、緊急時の対処法についての理解を深められるようにする。

整理 (10分)	10. 本時の学習のまとめをする。 ワークシートに記入する。 ・分かったこと ・考えたこと	<ul style="list-style-type: none"> ○ ワークシート記入時には、積極的に机間指導を行い、児童の記入内容を確認し、個別に言葉を掛ける。 ○ 実際に大きなけがが発生したときには、周囲の状況をよく確認し、自身の安全を最優先に、落ち着いて対処することが大切であることを知らせる。 ○ 小学生は、スキルの習得よりも命の大切さ、共助の精神についての理解が重要であることを伝える。 ◆ 大きなけがの場合の対処をすることができ、心肺蘇生法・AEDについて理解したことを、言ったり、書いたりしている。 <p>(評価方法：観察・ワークシート)</p> <p style="text-align: right;">【知識・技能】</p>
---------------	--	--

(4) その他 資料及び配慮事項

授業後、実際に校内のAED設置場所に行き、設置状態を確認する。

第6学年 体育科（保健領域）指導案（簡易版）

作成日時： 年 月 日

指導者：

1. 単元名 2) 保健領域 オ 病気の予防

2. 本時の指導（1／1時）

(1) 本時の目標

- 大きなけがの場合の対処ができるようにするとともに、心肺蘇生法・AEDについて、実際の場面を想定した実習を通して理解したことを、言ったり、書いたりすることができるようにする。

【知識・技能】

- 大きなけがの場合の対処法について、実習を通して、進んで取り組むことができるようにする。

【主体的に学習に取り組む態度】

(2) 準備・資料

- ワークシート
- 心肺蘇生法 説明用動画
- 訓練用人形（心臓部のみも可）
- 訓練用AED
- プロジェクタ
- 小黒板

(3) 展開

時間	主な学習内容・学習活動	○指導上の留意点 ◆評価
導入 (7分)	1. 本時の学習課題について考える。 「目の前で、自分の大切な人（家族や友達）が急に倒れてしまったら、あなたはどのような行動をとりますか」 2. 心臓突然死について知る。	○ 本時は、自分の周りで人が急に倒れたり、命にかかわるような大きなけがが発生した際に、どのような行動をとればよいのかを学習することを知らせ、学習の見通しをもたせる。 ○ 課題と同じ経験をしている児童がいる場合には、事前に授業内容を伝えるなど十分に配慮する。

	3. 本時の課題を確認する。	
<p>大きなけが（心肺停止）をした人を発見した場合には、どのような行動をとればよいのだろう。</p>		
<p>展開 (30分)</p>	<p>4. 大きなけが（心肺停止）をした人を発見したときの行動について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後,校庭で倒れている人を発見した。 ・声をかけたが,反応がない。 <p>5. どのような対応をすればよいか知る。</p> <p>① 安全の確認 ② 反応の確認 ③ 119番通報,AEDの依頼</p> <p>6. 心肺蘇生トレーニングキットを展開する。</p> <p>7. 胸骨圧迫の手順について確認し,練習する。</p> <p>④ 呼吸の確認 ⑤ 胸骨圧迫</p> <p>8. AEDの目的や機能について知る。</p> <p>9. 緊急時の対処法を確認する。</p>	<p>○ ワークシートに自分の考えを書き,全体で確認する。</p> <p>○ 反応（意識）や普段どおりの呼吸の確認がよく分からない場合は,次の行動に進んでよいことを知らせる。</p> <p>○ すぐに大きな声で助けを求めることが救命の第1歩であり,大切であることを伝える。</p> <p>○ DVDを視聴させ,ペアで交代しながら,ポイントを確認する。</p> <p>◆ 胸骨圧迫の練習に進んで取り組もうとしている。 (評価方法; 観察・ワークシート) 【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○ AEDの目的や機能,校内設置場所を確認させる。</p> <p>○ 全体で再度3つのSTEP（左欄①②③）について確認させ,緊急時の対処法についての理解を深められるようにする。</p>
<p>整理 (8分)</p>	<p>10. 本時の学習のまとめをする。</p> <p>ワークシートに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分かったこと ・考えたこと 	<p>○ 実際に大きなけがが発生したときには,周囲の状況をよく確認し,自身の安全を最優先に,落ち着いて対処することが大切であることを知らせる。</p> <p>◆ 大きなけがの場合の対処をすることができ,AED・心肺蘇生法について,実際の場面を想定した実習を通して理解したことを,言ったり,書いたりしている。 (評価方法; 観察・ワークシート) 【知能・技能】</p>

(4) その他 資料及び配慮事項

授業後,実際に校内のAED設置場所に行き,設置状態を確認する。